

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	障害者職業訓練指導員経験交流事業費	事業開始年度	平成4年度	作成責任者		
担当部局庁	職業能力開発局	担当課室	能力開発課	能力開発課長		
会計区分	一般会計	上位政策	福祉から自立へ向けた職業キャリア形成の支援等を行うこと			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	職業能力開発促進法第3条の2第5項、第15条の4、第99条	関係する計画、通知等	「重点施策実施5か年計画」(平成19年12月25日障害者施策推進本部決定 期間平成20年度～平成24年度)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	障害者の職業訓練を担当する指導員が蓄積した訓練技法等のノウハウやニーズ、経験等を相互に情報交換・分析を行い、これを共有化することにより、訓練内容の充実・向上等を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	障害者職業訓練校の指導員等が個々の現場において蓄積した訓練技法等のノウハウやニーズ、経験等を相互に情報交換・分析を行い、これを共有化することにより訓練内容の充実・向上等を図ることを目的とした交流会を定期的開催するもの。					
実施状況	平成21年度 出席者数 34名 平成20年度 出席者数 35名					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	0.8	1.1	0.9	0.9	0.8
	執行額	0.3	0.3	0.1		
	執行率	37.5%	27.3%	11.1%		
	総事業費(執行ベース)	0.3	0.3	0.1		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	本交流会は厚生労働省主催であり、講師謝金、旅費、茶菓代等を当該事業費から支出している。				
	見直しの余地	障害者の就職促進を図るうえで、指導員の資質の向上は不可欠であり、今後も本交流会の内容を充実させていく必要がある。				
予算・監視の効率化	一部改善(執行状況を予算要求に反映) 障害者職業訓練指導員経験交流事業費については、毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すべき					
補記						

厚生労働省
0.1百万円

謝金



A講師
0.05百万円

講演

障害者の就労について専
門家として講演を行った。

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.講師			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	講師旅費、日当	0.04			
謝金	講師謝金	0.01			
計		0.05	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0